



「アンゲリア」はギリシャ語で「ニュース・伝言・メッセージ」という意味です。

学生相談員の経験

地域科学部3年
小鳥 絵里子



私は今年の4月から、新入生を対象とした学生相談員を経験させてもらっている。私が入学した時も感じたことだが、大学の授業の取り方というのは大変複雑である。配られた紙だけでは理解し難い、この時期を1人でスムーズに乗り切るのはなかなか難しい。そこで、このような相談室が今年度から設けられたのである。この部屋は全学共通教育講義棟の1階にあり、そこに学生相談員が待機している。新入生を中心に、相談事がある人はここを訪れ、相談員に質問をすることができるのである。さらに、入学したての頃は知り合いも少なく、気軽に立ち入ることのできるこのような一室があることは、安心できると同時にとても便利である。さらに、私が属する地域科学部のように、大人数でひとつの団体となっている学部、学科では、タテのつながりというものがかたんどない。そこでこの相談室が先輩後輩のひとつの出会いの場にもなると思われる。しかし今回は、初めての試みということで新入生の間での知名度も低かったからだろうか、実際相談室を訪れたのは数えられるほどの人数であった。他にも原因があったかもしれない。このように、大きな可能性を持ちながらも現実ではなかなかうまくいかない。改善すべき点を模索し、改善し、来年度までにはよりよいシステムにすべきだと感じた。

おいでん、学習支援室!!

応用生物科学部2年
上田 英里



皆さん、こんにちは。私は学習支援室で学習相談員の一人として、日々不安を抱えた新入生の皆さんの相談を待っています。この「学習支援室」は、今年4月に開設された新しいもので、昨年度、私が大学に入学したときには無かったものです。入学当初、私は今までと大学との環境の違いに戸惑い、常に不安を感じていました。しかしその不安をぶつける場所が無く、全てが手探りのまま一年間を過ごしたのです。あの時、学習支援室の様に気軽に相談できる場所があったらよかったです。あれも思っていますが、それはもう過ぎたこと。今は、あの頃の私と同じ悩みや不安を抱えている後輩達の力になりたいという思いを胸に、支援室の椅子に座っています。しかし現在、相談者の数は大変少なく、私達相談員は寂しい思いをしています。相談員達は先輩としてだけでなく、同じ学生として、生活のいろいろな場面についての相談に乗ってくれるはず。皆話好きの、とても気のいい人たちがばかりですよ。ほんの些細なことでも構いません。ただ単に話し相手欲しい、そんな理由で訪ねてきて頂いても、私達は歓迎します。ちょっと友達の部屋に立ち寄りような感覚で、全学共通教育講義棟1階「学習支援室」をあなたのものぞいてみませんか。

授業訪問シリーズ No.7

言語学I—岐阜県方言のしくみを学ぶ—

山田敏弘准教授

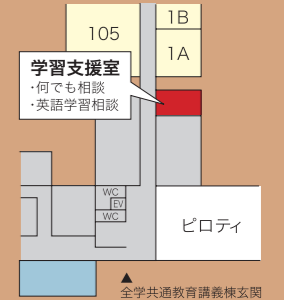
「フク」「イツ」「ドコ」このアクセントはどうですか?共通語と自分のアクセントを比較チェックさせながら、授業に引き込んでゆき、「共通語を知ることには必要だけど、自分を変えてまで合わせる必要は全くないよ。ただ、使い分けの力は必要だね。」と山田先生。普段学生が使っている方言を素材にして、日本語、そして言語全般を考えていく授業には、今年、300名近い受講希望者が殺到し初めて抽選がおこなわれました。授業は160名の受講生が、独自に作成されたテキストを用いて、方言会話の口頭練習をしたり、友だちや家族に毎回調査をしたりと、かなりたいへんですが、毎回、全員の調査結果を合わせて地図化されて返されると、あちこちで驚きの声が上がります。皆が作り上げている授業であるとの意識が醸成されていきます。たいへんな授業ですが、お楽しみも仕込まれています。毎回、使われる方言ビデオや歌や物語などのAV教材を楽しみにしている学生もいますし、今年の七夕の時期には、方言で短冊に願い事を書いて盛り上がりました。「身近な題材を全問のレベルで考え、楽しく学べる授業。」がモットーのこの授業。ワークブックともなっている独自テキストを先生が学期途中と最後にチェックをするなど、大学入学時の学習姿勢構築も考えられています。「えらてえらて、こんな授業そーもやっとなさか!」と言いながらも、学生から教わる方言情報に、笑みのこぼれる山田先生でした。



学習支援室のご案内

- 何でも相談
学習面、履修関係などについて、教員及び各学部の学生相談員が対応します。何でも相談ください。
【開室曜日・時間】 月・火曜日:16時から18時 水曜日:13時から17時
- 英語学習相談
英語の基礎学力の修得、英検・TOEFL・TOEIC受験など英語学習全般及び留学などについて、英語担当教員が対応します。
【開室曜日・時間及び担当教員】 月曜日:12時から13時30分 杉山容子先生(非常勤講師)
火曜日:12時から13時30分 長尾裕子先生(非常勤講師)

*いずれも授業開講期間(休業・休講期間を除く)



18年度後期の授業評価アンケートにおける学生の要望とセンターからの応答

A.すでに対応済みの要望

- 1.エアコンの問題。集中管理するのではなく、気温によって適宜稼働できるように。
●通年、教室で教員が稼働するシステムに改善した。

- 2.参考図書の一覧。参考図書を「一覧表」にして学生に配布して欲しい。
●すでに参考図書一覧表の作成に入った。早急に配布する。

B.すでに対応策の検討に入っているもの

- 1.授業貸し出し用のノートパソコンにもOpen officeを入れて欲しい。
●早急に実現する。
- 2.受講生の規模と教室の大きなアンバランスにかかわっての要望が多数ある。
●すでに事務的に可能な限りで対応している。そのことを教員に周知する。

- 3.レポート用紙の問題。
●教員に対して、明確な指示を与えるように要望する。

C.早急に委員会を検討すべきと考えられる問題

- 1.受講希望者多数の場合の「足きり」について。方法にかかわっての「クレーム」と「改善」の要望。
●「足きり」の方法について、単純な抽選ではなく「小レポート」等の方法を考えて頂くように教員に要望する。改善策については、後学期希望者が多数になると予測された授業の一部について「もう一コマ曜日を変えて開講」を実行した。

- 2.連絡・提示は掲示だけではなく、プリントとAIMS GIFUを用いて欲しい。
●事務的に検討し、教員の協力をお願いする。

- 3.出席をとるのに、点呼は大人数の場合時間が掛かりすぎる。
●来年度から各教室に設置されるICカードを用いた「出席情報システム(入・退室の時間を記録する装置)」によって対応してもらうことを教員に要望する。

- 4.教員は自分の使う教室の「機材の扱い方」を事前に勉強しておいて欲しい。
●教室毎に、機材の更新などで使用方法が異なることがあることを教員は知らない。事前に教員に確認をお願いすることを要望する。

- 5.英語の授業にかかわっての多くの要望
●英語に関しては従来からさまざまな問題、要望がある。今後とも継続的に議論する予定である。

- 6.未修外国語について次の疑問・要望があった。

- ①「それをやる意味が分からない」
●未修外国語は初年次学生にとっては初めてのものなので、内容や意味等の情報の提示を丁寧に行うこととする。
- ②「未修の登録で、第1希望をはずされ、第2~3希望に回されてしまう基準はどこにあるのか」
●履修申請カードに「未修外国語希望調査欄」選択肢を基準としている。登録のあり方についてはガイダンスを丁寧に行うこととする。
- ③「未修外国語を2年次以降も引き続き受けたい」
●2年時以降の開講については今のところ全学共通教育では対応していない。これについては教員に相談すること。

- 7.総合について、「半期という授業は組み合わせが難しい」また「半期ではなく15回やってほしい」という要望。
●委員会で対応策を検討することを決定した。来年度に向けて対応をはかっていきたい。

D.再確認を徹底すべきもの

- 1.板書に対するクレームも非常に多かった。
●以前から要望してあるのだが、重ねて教員に要望する。
- 2.教員の「授業時間の延長」「遅刻」「休講」に対するクレーム。
●これも重ねて教員に周知を徹底したい。
- 3.シラバスについて、「1.内容と実際の授業とが異なっていることがある」、特に「2.テストやレポートの課題提示の突然の変更は腹立たしい」「3.やむを得ぬ変更の場合は早めに連絡して欲しい」等の複数のクレームがあった。
●これも重ねて教員に周知する。
- 4.学生の私語や遅刻に対して、教員個々の対応は勿論のこととして、大学として厳しい態度を示すべき。
●教員の注意ももつとだが、問題の根はそうした一部の学生にある。学生に対する注意を再周知すると共に、教員にも注意の喚起などをお願いする。また遅刻・早退の頻発に対しては、大学は防止のための手段をすでにとり、各教室にICカードを用いた「出席情報システム」を設置することとしたので、その活用により減少することを期待している。

編集後記

センターニュース「アンゲリア」の6号を刊行しました。今回から「壁新聞」という方式にして、多くの方々へ気軽に目を通してもらおうとしました。内容も全学共通教育の授業の紹介や学生諸君の声をたくさんにしたいという方針で作成しました。今後とも学生諸君の声をたくさん反映させたものにして考えております。いろいろアイデアや要望・意見を頂けると幸いです。持ち帰り用のものも作成してありますので、それは自由にお持ち帰り下さい。

編集責任・教養教育推進センター
副センター長、小澤克彦